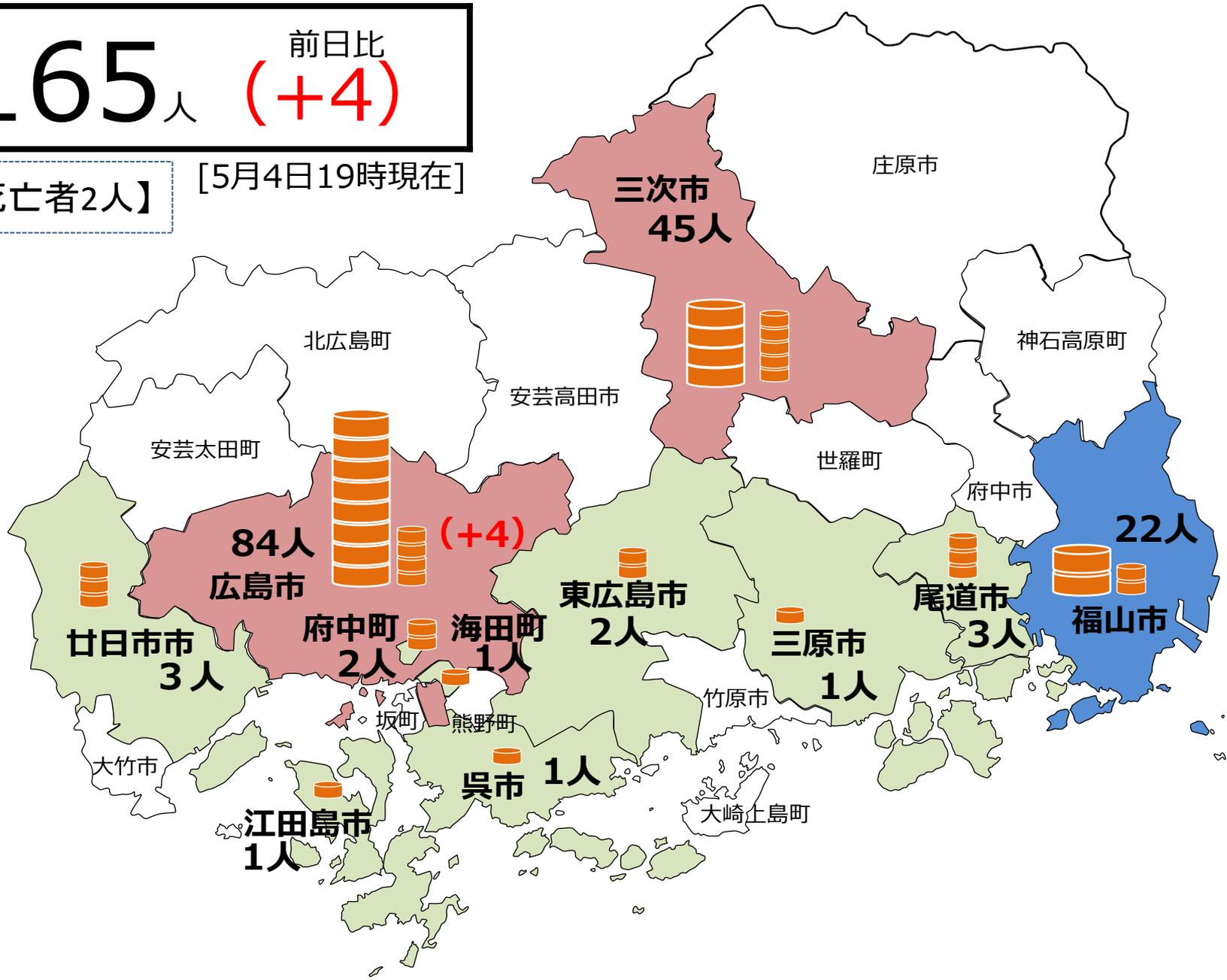


新型コロナウイルス感染症患者の状況（広島県）

延 **165**人 前日比 **(+4)**

【うち死亡者2人】

[5月4日19時現在]

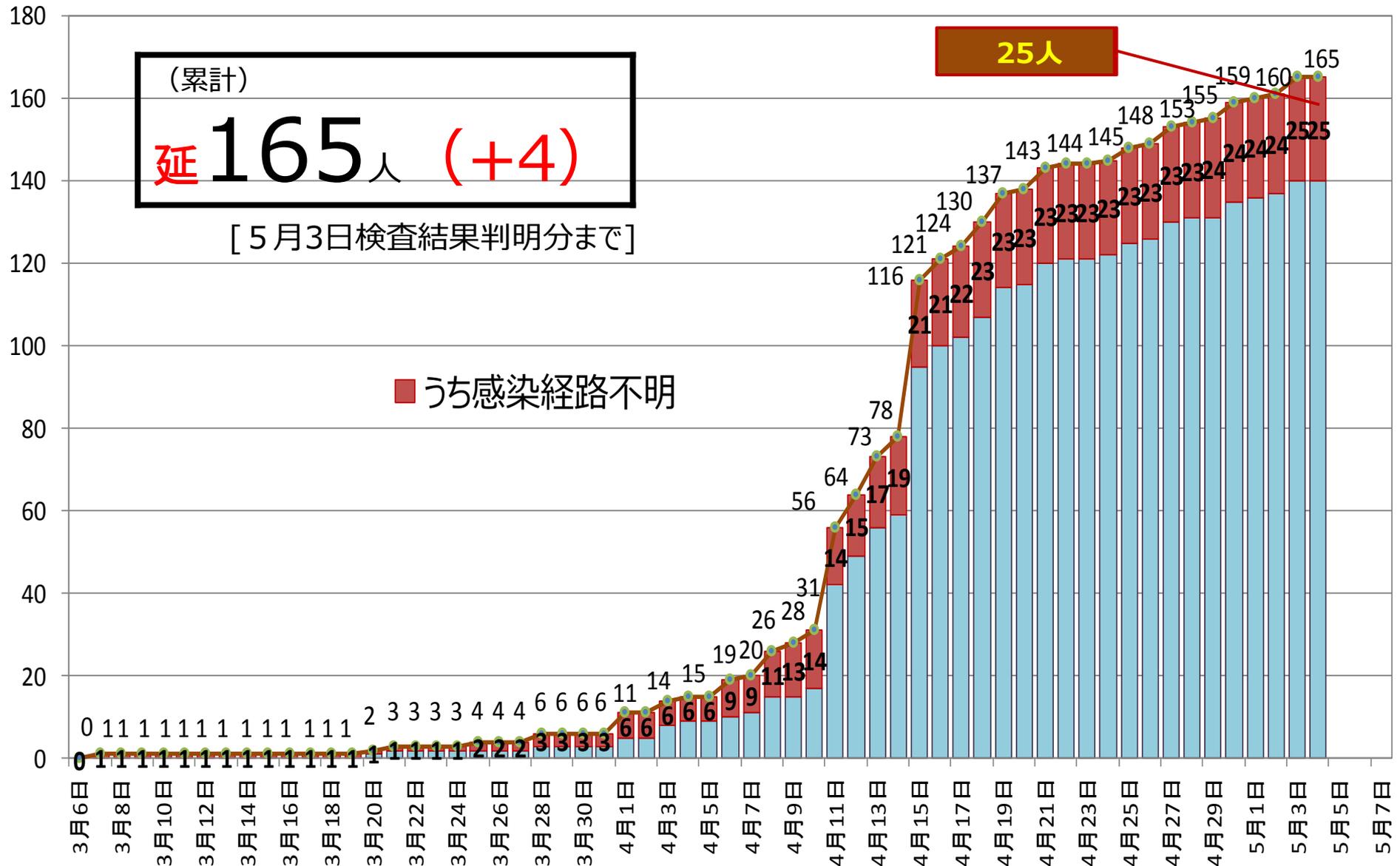


新型コロナウイルス感染症患者の推移（広島県） 【検査結果判明日ごとに整理】

(累計)
延 165人 (+4)

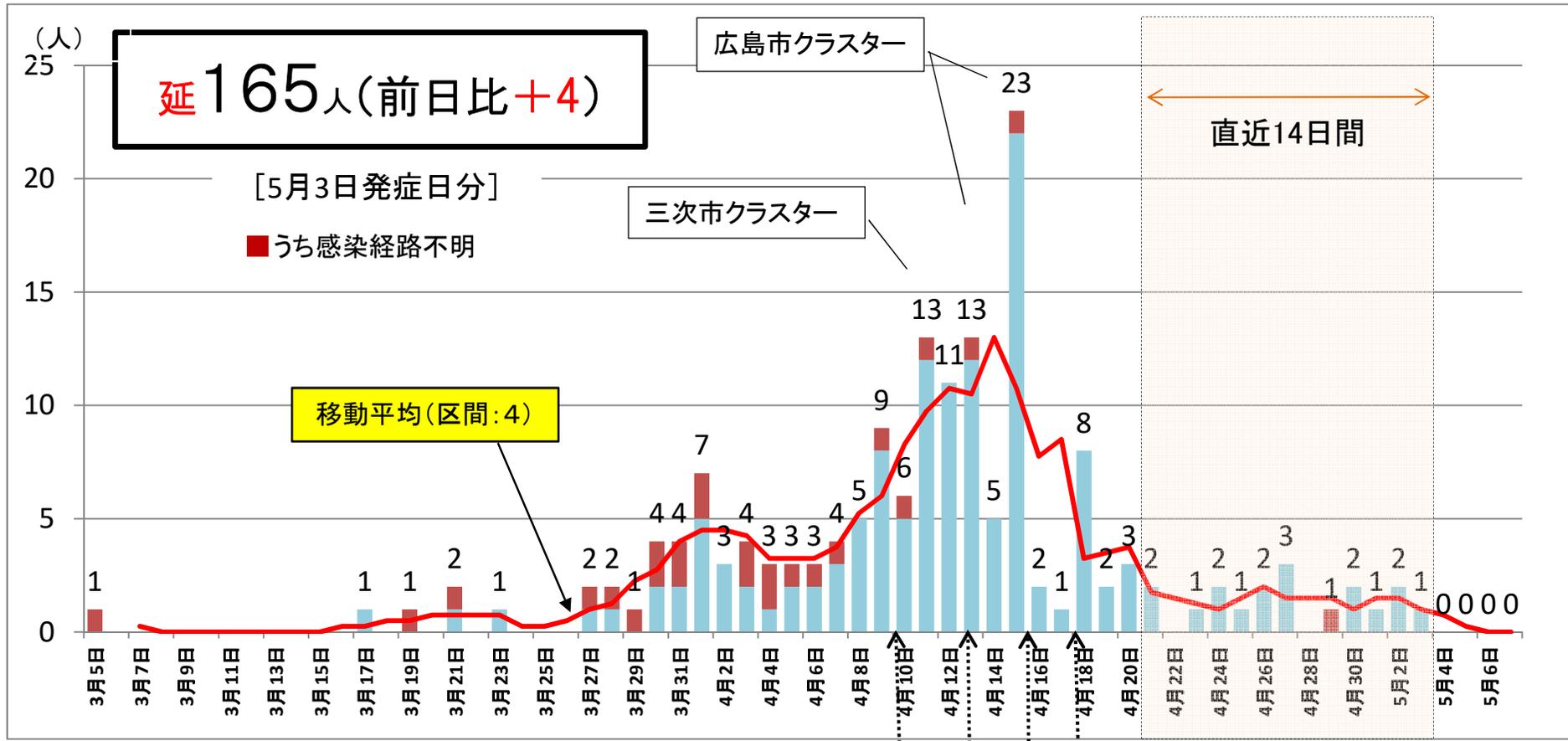
[5月3日検査結果判明分まで]

■ うち感染経路不明



新型コロナウイルス感染症患者の推移(広島県)

【発症日別(無症状は判明日で整理)】



(注)発症日データについては、直近14日間に影をつけている。
 同期間は、まだ今後感染者が報告される可能性が高いことに留意する必要がある。

4/10 要請 県週末外出自粛
 4/13 宣言 県感染拡大計画
 4/16 国緊急事態宣言
 4/18 宣言 県緊急事態措置

広島県新型コロナウイルス感染症対策専門家委員会の意見〔令和2年5月4日〕 (新型コロナウイルス感染症対策専門員会議)

【感染状況】

- 感染者数165名，退院53名，死亡2名
- 感染者確認市町は，11市町
- ここ数日の新規の感染者数は，1日あたり数名で，感染経路不明の事案も限定的
- 広島市，三次市における患者クラスターについては，積極的疫学調査により全体像が把握されている

【医療体制等】

- PCR検査機器4台の追加整備や，民間検査機関・大学等の協力により，1日当たりの検査能力を130検体から350検体に拡充予定。
- トリアージセンターを設置し，病床の稼働状況を確実に把握(12病院，199床，66名入院)
- 宿泊療養施設については，130室を確保し，現在10名が入所
- 重症患者数のピーク時に必要な医療機能を確保するため，人工呼吸器39台，ECMO6台を追加整備予定

【評価】

- 国の専門家会議が示す、「新規感染者数が限定的となり、対策の強度を一定程度緩められるようになった地域」に近い状況
- 一方、県民及び事業者に対する制限を一度に緩和することは、再度感染の拡大を招くため、引き続き、徹底した行動変容の要請によるまん延防止の継続が必要
- ただし、特に社会的に必要性が高く、かつ様々な工夫により感染リスクを十分に下げることができる事業などについては、国の対処方針や疫学的状況、医療状況を注視しつつ、制限を一部徐々に緩和できるのではないか
- 引き続き、積極的疫学調査を徹底したデータに基づき、2週間を目途に評価を行い、疫学的状況、医療状況が悪化した場合には、再度制限を強化し、まん延防止に取り組むべき

新型コロナウイルス感染症患者(他県比較)

